

# 04 Manual Milling

## フライス盤



### ものづくりを支える金属加工の王様!

フライス盤は、ものづくりの現場で活躍する重要な工作機械。フライス盤による加工は、材料を前後・左右・上下に動かし、回転している切削工具で行います。フライス盤は金属の「平面加工」「溝加工」「段加工」「穴加工」などの加工が得意で、平面の組み合わせによる立体形状の機械部品を0.01mm単位の精度で加工します。機械は、1つの部品だけでは機能せず、多くの部品の組み合わせで機能を発揮します。そのため、組み合わせる部品どうしの寸法精度がとても重要となります。

#### POINT

#### 競技は段取りから始まっている! 0.01mmを競う競技!

競技では、フライス盤を使用し「六面体(長方体)」「直溝(エンドミルという工具による切削加工)」などで構成された課題を競技時間内に作製し、各部品の寸法精度、組み立て精度や出来栄を競う競技。競技課題は事前に公表されるため、選手はあらかじめ加工工程や作業時間の配分などを検討し、必要となる切削工具や測定器具、作業工具を準備し競技に臨みます。

二宮 敬一 主査  
職業能力開発総合大学校



#### 2019年大会 参加選手の状況

高等学校(工業系):	18人
高等学校(専攻科):	2人
都道府県職業能力開発施設:	8人
職業能力開発大学校:	5人

※2020年大会はコロナ禍により中止

